



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
2017~2018年度RIテーマ

例会会場：ホテル プエナビスタ / 例会時間：第 1・2 火曜日 19:00~20:00, 第 3・4・5 火曜日 12:30~13:30

「奉仕してこそロータリアン
子どもの貧困を理解し、我がクラブの存続も見通す」

バッチの引き継ぎ 18:55

西牧前年度会長から宮坂新年度会長へ



藤田前年度幹事から中島新年度幹事へ

点 鐘 19:00

宮坂会長

司 会 S.A.A・プログラム 大久保クラブ管理委員

斉 唱 「君が代」「奉仕の理想」

ゲスト紹介

宮坂会長

米山記念奨学生 李 穎輝 様

李 穎輝様へ

米山記念奨学金授与

宮坂会長



7月お祝い報告

征矢会員増強組織委員長



[会員誕生祝] 宮澤会員 児野会員 西川会員

[皆出席表彰] 20年 宮澤会員

会長あいさつ (年頭あいさつ)

宮坂会長

*奉仕すべきはなにか

「奉仕の理想に、集いし友よ」。お馴染みロータリアンソングの歌いだしです。

原理原則的な話になりますが、我々は奉仕するためにクラブに入っているはず。我がクラブも様々な奉仕を行っ



ていますが、ここのところ奉仕活動がマンネリ化している傾向にあると思われます。

あえて断言します。我々には喫緊に取り組むべき奉仕活動があります。それは「子どもの貧困問題」の解消です。

我が国は、7人に1人の子どもが貧困状態にあります。この衝撃的なデータを、私は信じられませんでした。開智小PTA会長・松本市PTA連合会長を経験し、現実であることを実感しました。この我が国の状況はOECD加盟国で下位に属しています。自国の子どもがそのような状態にある中で、本当に国際奉仕など出来るのでしょうか？子どもの数はこの30年間で半減しました。さらに今後20年間で3分の2に減少します。貴重な子ども達を、心血を注いで社会で育てる事。奉仕すべきはここにあると考えます。

*子どもの貧困問題を理解すること

子どもの貧困問題には様々な誤解・偏見があります。非常にデリケート且つ、認識しづらい部分もあり(見えない貧困)、アプローチは難しいと言えます。

まずはこの問題を正しく理解する事が重要です。上期のプログラムでは、月1回例会においてこの勉強会を行い、認識を深めた上で、下期は我がクラブとして何が出来るかを議論して行きたいと考えます。

この問題とも深くリンクしている「奨学金問題」は現在の若年層の半数近くが対象となり、我々年長ロータリアンとしてどのように奉仕できるか、腕と知恵の見せ所です。

*クラブの存続を真剣に考える

今回、初めて年度予算を組みましたが、払うものを払うと何も残りません。会員数はご承知の通り、ここ数年20名程度のじり貧状態にあります。最近チャーターメンバーの退会も目立つ上に、年齢バランス・財政的にも将来に悲観的な状況です。創立23年を迎え、本当に我がクラブを存続出来るのか。現実から目を逸らさず、例会内でしっかりと議論し、打つべき手を打っていく年度といたします。

現況報告 (平成29年7月1日現在)

中島幹事

◎本年度の組織

*RI会長;イアンH. S. ライズリー君(オースト

ラリア;サンドリンガムRC) *RI 理事; 齊藤直美君(豊田RC) *RID.2600 ガバナー; 関邦則君(長野RC) *RID.2600 ガバナーエレクト; 伊藤雅基君(駒ヶ根RC) *中信第一グループガバナー補佐; 小穴 実君(あづみ野RC)
◎RI. 為替レート; 1ドル111円(7/1現在; 参考6月110円)
◎ガバナー公式訪問; 7月25日(火)(ガバナー補佐事前訪問; 7月11日(火))
◎地区大会; 10月14・15日(土・日)
ホスト…長野東RC、会場…ホテル国際21
◎中信第一グループIM・会員セミナー; 11月19日(日)。ホスト…あづみ野RC、会場…安曇野市 勇屋会館
◎当クラブ会員状況; 正会員21名(内女性3名)
◎取引銀行; 松本信用金庫 本町支店
◎事務局員(浅川節子)勤務時間; 月～金 10:00～16:00 (第1・2火 夜間例会15:00～21:00)

幹事報告

中島幹事

①RI part①開催のご案内。

日時…7月30日(日)。場所…塩尻市市民交流センターえんぱーく。参加依頼…児野会長エレクト

②本日例会終了後、同会場にて定例理事会開催。

③各RC例会変更のお知らせ。

[大町RC] 7月12日(水)移動例会(夜間例会)、7月26日(水)休会(ロータリー定款により) / [松本空港RC] 7月17日(月)休会(法定休日)、7月24日(月)移動例会(夜間例会)、7月31日(月)移動例会(8/5・6登例会; 八ヶ岳) / [松本西南RC] 7月19日(水)休会(ロータリー定款により)、7月26日(水)移動例会(夜間例会) / [松本東RC] 7月28日(金)移動例会(夜間例会)

出席報告

藤田クラブ管理委員

会員総数 21 名

本日の欠席者 4 名(他 1 名は事前メイキャップ済)

出席率 80.95%

前々回(6/14)修正欠席者 2 名 出席率 88.89%

ニコニコボックス報告

藤田クラブ管理委員

会員誕生祝・皆出席表彰 ◇同じ干支で誕生日も同じ確率は、 $365.25 \times 12 = 4,382$ 。一万人いてはほぼ2人だけ。私と藤井聡太君がそうです。宮澤君

会員誕生祝 ◇大雨が来ています。現場は準備で大わらわです。宮坂会長、第1回が開催され、多くの出席者があり、おめでとうございます。ガンバッテ下さい。児野君

その他のコメント ◇宮坂会長、1年間頑張ってください。西牧君 ◇宮坂新年度おめでとうございます。藤田君 ◇1年間、会長として頑張ります。よろしくお祈りします。宮坂君 ◇至らぬ幹事ですが精一杯努めますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお祈りいたします。中島君 ◇宮坂会長・中

島幹事年度のスタートを記念して。大久保君 ◇いよいよ新体制スタート。宮坂会長を皆でサポートしていきましょう。山崎君 ◇宮坂年度は雨のスタート。地固まる!! 征矢君 ◇新年度の役員の皆様どうぞよろしくお願いいたします。新しいスタート楽しみにしています。井筒君 ◇宮坂会長、中島幹事、1年間頑張ってください。西川君 ◇宮坂丸の門出よろしくお祈りいたします。上條君 ◇西牧先生、藤田先生、お疲れ様でした。宮坂年度に幸あれ! 塚本君 ◇雨降っても地固まらず。台風通りてファースト。(うまいこと言ったつもりです)須澤君

なんとなく ◇櫻井君

配布資料; 「幹事報告」「会報 前年度No.46」「ガバナー月信No.1・ファイル」「Rの友7月号」

～ プログラム ～

《新役員あいさつ》

*中島光章幹事



この度、幹事という大役を仰せつかりました。1年と少し前でしようか、当クラブに入会して漸く1年経ったばかりの頃に柴田さんから「副幹事をお願いします」と電話がありました。何それ

とビックリして無理ですとお断りしたのですが、皆さん経験されて他にいないからと結局押し切られ、副幹事をお受けしたのが始まりでした。そして昨年、例会の席で「中島さんが幹事を引き受けてくれるか心配だと宮坂エレクトが言っていましたよ」と浅川さんから耳打ちされ、暫くして今度は征矢さんから「宮坂さんから連絡があるかと思うけれど、頼むから幹事を引き受けて下さい」と懇願されました。私が入会時の幹事は、現在の宮坂会長で、その次が丸山副会長、そして藤田前幹事と皆さん立派に務められており、自分には荷が重いというのが正直なところでしたが、ごねて宮坂会長に迷惑をかけてもいけないので、肩肘張らずに出来る範囲でやってみようとお受けすることにしました。

今期から例会日が火曜日に戻ります。水曜日の例会に戸惑いが無くなっていると思いますので、違和感を覚えなくなるまでは、例会は火曜日と意識して頂きたいと思います。

ところで、先月の最終例会で藤田前幹事が初仕事はプログラムをすることと予算立てで苦労しました、と話がありましたが、今期については、プログラムも予算立ても宮坂会長にオンブと抱っこでスタートしました。会員が中々増えず、

厳しい予算を組まざるを得ない状況の中で、企業の再建ではないですが、わが松本城RCも「入りを量りて出を制す」で進めるしかないと考えます。皆さんには、まずは、会員増強と無駄の排除、ニコニコボックスへの喜投でのご協力をお願い致します。

そして、今期の目玉の一つである「将来の松本城RCの存続のために出来ること・やらなければならないことは何か」について、宮坂会長の意向を踏まえたうえで、皆さん全員と一緒に考えながら取り組んでいきたいと考えております。

皆様ご承知のように、宮坂会長は非常に責任感が強く、正面から直球勝負で挑む方ですので、幹事として足を引っ張らないようにしていきたいと考えていますが、皆様のご協力、サポートが不可欠ですので、よろしくお願い致します。

*柴田クラブ管理委員長 (中島幹事代読)

まずもって欠席しますことをお詫び申し上げます。

今年度のクラブ管理委員会についてご説明します。担当は、SAA、プログラム、ロータリー情報、規程、ニコニコBOX、出席であり多岐にわたります。

基本的にはクラブ及び例会の適切・効率的な運営を心掛けます。また、親睦・友愛を活かした和やかな例会とします。

今年度は、宮坂会長の会長方針に則り、これからご説明いたします基本方針・目的・理念としました。

*基本方針等

SAA及びプログラム；クラブ財政を考慮し経費削減例会を開催する ・現在直面している子どもたちの貧困問題を考え、奉仕とは何かを再考する ・クラブ及び例会の適切・効果的な運営に心がける

R情報・規程；逐次ロータリーに関する情報と、RIの最新情報を提供する

ニコニコBOX・出席；コメントを通して相互のコミュニケーションの場とする ・例会出席率の向上を会員に働きかける

*事業活動計画

SAA及びプログラム；親睦・友愛を活かした和やかな例会とする

R情報・規程；2016年規程審議会によりクラブ運営が大幅に柔軟性を持たせることが可能となったため、クラブ規程の改訂を臨機応変に実施する

ニコニコBOX・出席；ニコニコBOXコメント賞発表。欠席の事前届けとメーキャップ奨励。

これからの1年間、クラブ管理委員長としての責務を果たすべく運営していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

*征矢クラブ会員増強組織委員長



会員増強は、当クラブの存続にかかわる重大な問題である。従来の方法にとらわれることなく、抜本的な会員増強の方策を検討したい。全会員が一丸となり、1人でも多くの会員を入会させ、退会する会員をなくすことを目標に活動をできるようにしていきたい。

会員の家族を含めたロータリーの親睦活動は、会員増強の重要な柱であり、創意工夫をして、楽しい行事を企画していきたい。

会員増強は2名の増員を目標としたい。規定審議会での決定事項を踏まえ、例会、会員要件の見直しも含め、抜本的な改革を検討したい。家族会員、若手会員、高齢者会員、準会員、特別会員といった会員カテゴリーの創設、会費の減額も検討したい。例会に出席しない会員への声掛け、若手の会の開催等を検討したい。

会員及び家族の友好を深める企画を計画し、多くの方に参加していただく。会員候補者をゲストに招き、講演をお願いする。

皆さまのご協力とご理解をよろしくお願い致します。

*山崎クラブ広報委員長



今期より広報・情報委員会は「公共イメージ向上委員会」と改名され、ロータリーの公共イメージをアップし、クラブと地域社会との関係がより良好となるよう努める。それにより入会への関心も高まることを念頭に活動する。

例会の内容記録をクラブ会報に掲載、発行する。クラブ活動の状況等、情報をホームページで広報する。

ロータリーの友の内容を紹介し、会員に興味を持って読んでもらえるように努める。特に9月は“ロータリーの友月間”とし、関連記事を3ヶ月分読んで感想を発表する。

地域のメディアへ積極的な情報提供する。

IT化への協力を求める。

*宮澤国際奉仕委員長



国際奉仕;この地区に住む外国人及び外国人観光客に対する医療の実態を調査し、問題点の抽出とその対策を研究提言する。

ロータリー財団;ロータリー財団を学習する(例会利用)・寄付の種類などについて確認し、要請する・財団の活動(寄付の使途など)について

を確認する

米山記念奨学会;米山記念奨学会を学習する(例会利用)・仕組みとその成果について確認する
青少年奉仕;ローターアクト活動への支援・インターアクト活動への支援
委員長としての責務を果たすべく活動していきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

点 鐘 20:00

宮坂会長

[写真;山崎・西牧]

Rotary



*国際ロータリー会長;
イアン H.S. ライズリー君
(オーストラリア
ビクトリア州;
Sandringham R C)



*2017-18年度
国際ロータリーテーマ;
ロータリー;変化をもたらす
~ROTARY: MAKING
A DIFFERENCE~

*国際ロータリー
第2600地区ガバナー;
関 邦則 君 (長野 R C)



*2017-18年度地区標語;
~UPDATE MY CLUB~

公認会計士。個人や小規模ビジネスにおける税務や管理のアドバイスを専門とする会計事務所、Ian Riseley & Co.を1976年に設立。設立以前は、大手会計事務所や企業の監査・経営コンサルティング部門に勤務。税法の修士号、会計と所得税の学士号を持つ。

私立・公立学校の理事、サンドリンガム市諮問グループのメンバー、Sea Scoutsやスポーツ関連グループでも活躍し、現在は多くの慈善団体で名誉監査人やアドバイザーを務めている。

「ロータリーがプログラムや人材を備えている一方で、外部組織はそのほかのリソースを持っています。“世界でよいこと”をするという目標は、誰にとっても同じです。ポリオ撲滅活動をきっかけに多くの人がロータリーを知り、将来に新たなパートナーシップを築けることを期待しています」

会計士であるライズリー氏は、オーストラリア国内外の企業会計を専門とするIan Riseley and Co.の社長を務め、国際関係に強い関心を寄せています。2002年には東チモールでの活動を称えられ、オーストラリア政府より「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。2006年にはオーストラリアの地域社会への貢献が認められて、オーストラリア勲章を受けました。

私たちの奉仕は、R財団を通してより広く深く世界の隅々まで浸透していきます。R財団や米山奨学会への寄付は、ロータリアンの基本認識だと思います。現在の認識では、奉仕は持続してこそ効果的であると考えられています。ロータリーの奉仕のモデルケースとも言えるポリオ撲滅活動のように長大な奉仕が必要になってきたというような背景もあるのだらうと思います。

どうぞ、ロータリーの曲がり角を実感してください。自分自身を、自分のクラブを見つめなおしてください。ロータリークラブの縮小や解散をイメージしたくなかったら、今から将来を考えておくことが必要です。将来に向けた戦略を考えてください。そして、それを実行することが求められています。クラブの実態や意識とRIの理念とは隔たりがあるかもしれません。すぐに実行できない場合であっても、RIの理念や動向を頭の片隅にとどめておいていただきたいと思ひます。

このような考え方を地区方針として提示させていただきます。ガバナーのみならず、各クラブの会員一人ひとりが同じ思いを共有していくことが大切です。クラブの支援をするのがRI役員としてのガバナーの役目ですが、同時にクラブの皆様によるガバナーへのご協力もお願いいたします。